

【APPENDIX③】 アンケート調査 実施概要と調査質問票

アンケート調査 調査質問票

大学に対する調査質問票（先行調査）

【アンケートの概要】

大学におけるベンチャー創出支援体制の課題を整理する為、文部科学省と協議のうえ、22大学を対象に先行して、ベンチャー創出の実績やエコシステムを構成する要素（「大学のビジョン」及び「資金」「ハンズオン」「人材確保」「マインド」「リスクマネジメント」「施設整備」）の現状を調査した。

【調査対象大学】

東京大学・京都大学・早稲田大学・大阪大学・東北大学・九州大学・横浜国立大学・熊本大学・筑波大学・岡山大学
千葉大学・山形大学・慶應義塾大学・広島大学・首都大学東京・信州大学・神戸大学・鳥取大学・東京工業大学
北海道大学・名古屋大学・立命館大学

【調査実施期間】

2019年11月～2020年1月

大学に対する調査項目（先行調査①）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
1.大学の起業支援に対する基本ビジョン	大学の研究成果を技術シーズとして事業化・創業を行う大学発ベンチャーを支援するための大学組織としての基本的な考え方についてお聞かせください	<p>(1)現時点で大学組織として大学発ベンチャー創出・支援が研究、教育、社会貢献、大学経営等の観点から重要だと考えていますか</p> <p>(A)重要だと考えている／重要視していない（選択制） (B)Aで回答した理由をご記入ください。また研究・教育・社会貢献・大学経営の観点において、どのように位置づけているか併せて回答してください</p> <p>(2)今後スタートアップ創出・支援をさらに進めていく必要があると考えていますか</p> <p>(A)はい/いいえ（選択制） (B)Aで回答した理由をご記入してください</p> <p>(3)(2)の(A)で「はい」と答えた方について、今後スタートアップ創出・支援をさらに進めていくにあたり、課題と考えていることについてご記入してください</p>	<p>・重要だと考えている／重要視していない</p> <p>・はい/いいえ</p>
2.大学発ベンチャーの創出支援体制の全体像について		<p>(1)必要と考えられる大学発ベンチャー創出支援内容を図に示しました。図のそれぞれの項目について、貴学での実施状況を回答してください。また大学発ベンチャーの創出に当たって重要だと考える項目について、上位5つの順位をご記入してください</p>	<p>・次ページ図1・図2より選択</p>

大学に対する調査項目（先行調査②）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

2(1) 必要と考えられる大学発ベンチャー創出支援内容を図に示しました

図のそれぞれの項目について、貴学での実施状況を回答してください

また大学発ベンチャーの創出に当たって重要だと考える項目について、上位5つの順位をご記入してください

	起業前	起業時	起業後	循環
資金	①PoCファンド※1 ②GAPファンド※2	③ファンドの運用※3（独自もしくはVCとの連携）		④大学発ベンチャーからの資金獲得
ハンズオン	⑤相談窓口の設置（適切な支援プログラム紹介、人材紹介、気軽な相談） ⑥アクセラレータープログラムの実施 ⑦メンター、専門知識提供		⑧事業拡大支援（人材紹介、提携先紹介、グローバル展開支援） ⑨資金調達サポート	⑩支援人材、ノウハウの持続的な維持
人材確保	⑪起業家教育プログラム	⑫経営者等の人材紹介の仕組み（卒業生ネットワーク、地域人材ネットワーク、紹介期間との提携など）		⑬大学発ベンチャーから講師、メンターとしての協力
マインド ・組織 ・研究者	⑭起業ポリシー・推進計画の有無 ⑮大学経営の観点から大学発ベンチャーを推進しているか ⑯5年前と比べ、研究者の起業意欲は高まっていると感じるか	⑰起業後の大学発ベンチャーに対して大学として支援を推奨しているか		
リスク マネジメント	⑱兼業、利益相反等の規定の整備、マネジメント経験			
		⑲知財・ライセンス交渉体制・経験 ⑳ストックオプション可否・経験	㉑ストック売却時のポリシーの有無 ㉒レピュテーションリスクに関する方針の有無	
施設 設備	㉓起業を目指す起業家や研究者、支援者のネットワークングスペースの有無	㉔研究者に近い場所でのインキュベーション施設の有無（ラボスペース、試作スペース、機器供与などのファシリティ）		㉕周辺地域施設の活用、提携の有無

大学に対する調査項目（先行調査③）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

図2

項目	実施状況 ○・×	重要と考えるもの 上位5つに順位を記入
■ 資金調達について		
①PoCファンドや事業化を目指す研究を支援するプログラムの有無		
②GAPファンドの有無		
③ファンドの運用（自大学独自もしくはVCとの連携）		
④大学発ベンチャーからの資金獲得の有無(大学発ベンチャーが事業で得た収益をもとに、大学に寄付、ロイヤリティー、株式売却等の資金を得た経験)		
■ ハンズオン支援について		
⑤相談窓口の設置有無（適切な支援プログラムや人材の紹介、気軽な相談）		
⑥アクセラレータープログラムの実施の有無		
⑦メンター制度、専門知識提供サポート		
⑧事業拡大支援（専門人材紹介、提携先紹介、グローバル展開支援等）		
⑨資金調達サポート（調達知識の提供、VC等投資家の紹介等）		
⑩支援人材の設置・育成、ハンズオン支援のノウハウの持続的な維持		
■ 人材確保における仕組みについて		
⑪起業家教育プログラムの有無		
⑫経営者等の紹介の仕組みの有無（卒業生や地域人材ネットワーク等）		
⑬大学発ベンチャーから講師、メンターとしての協力		
■ 起業へのマインド醸成（組織、研究者向け）について		
⑭起業ポリシー・推進計画の有無		
⑮大学経営の観点から大学発ベンチャー創出を推進しているか		
⑯5年前と比べ、研究者の起業意欲は高まっていると感じるか		
⑰起業後、大学発ベンチャーに対して大学として支援を推奨しているか (起業後、外部のアクセラレーションプログラムやVCの紹介等を推奨しているか)		
■ リスクマネジメントに対する対応		
⑱兼業、利益相反規程の整備および運用経験の蓄積		
⑲知財ライセンス交渉体制の構築および経験の蓄積		
⑳技術提供の対価としてのストックオプション可否		
㉑ストック売却時の方針の有無		
㉒レピテーションリスクに関する方針の有無		
■ ハード面の環境整備		
㉓起業を目指す起業家や研究者、支援者のネットワーキングスペースの有無		
㉔研究者に近い場所でのインキュベーション施設の有無（ラボスペース、試作スペース、機器供与などのファシリティ）		
㉕周辺地域施設の活用、連携の有無		

大学に対する調査項目（先行調査④）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
2.大学発ベンチャーの創出支援体制の全体像について		(2)大学発ベンチャー創出支援体制として必要と考えられる事項を示した図について、他に必要と考える支援要素があれば記入して下さい。また当該支援について既に実施している場合はその概要をご記入してください	
3.大学の技術シーズに対するリスクマネーの投入について	大学の技術シーズ事業化・創業へ向けて活動する起業家・大学発ベンチャーに対して、産学連携部門の資金等における支援の基本方針についてお聞かせください	(1)大学の技術シーズの事業化・創業のためのファンドやプログラムを運用していますか。また「いいえ」の場合、運用していない／できない要因・理由になっていることをお答えください (A) はい/いいえ（選択式） (B) いいえの場合の要因	・はい/いいえ
		(2)(1)の(A)で「はい」と答えた方について、PoCファンド、GAPファンド、その他ファンド（PoC・GAPファンド以外）・プログラムの概要について、各ファンドに以下（ア）～（工）について概要をご記載してください。 ※複数保有している場合は、最大3つまでご記入してください (ア) ファンド名称 (イ) ファンドの投資方針 (ウ) 支援ステージ 【基礎研究⇒応用研究⇒シード⇒創業期 ⇒アーリー⇒ミドル⇒レイター】 (エ) 運用額・ファンド規模 (オ) 原資 (カ) 運用開始年度	

大学に対する調査項目（先行調査⑤）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
<p>3.大学の技術シーズに対するリスクマネーの投入について</p>	<p>大学の技術シーズ事業化・創業へ向けて活動する起業家・大学発ベンチャーに対して、産学連携部門の資金等における支援の基本方針についてお聞かせください</p>	<p>(3)寄付金の獲得、民間企業、金融機関との連携、VC・エンジェルの誘致等、大学発ベンチャーへの投資資金（ファンド原資）獲得における取り組み方針と状況について概要をご記入してください</p>	
		<p>(4)ファンド原資獲得にあたり産学連携部門として感じている課題について概要をご記入してください</p>	
		<p>(5)起業を検討している又は起業した研究チームに対して、優遇措置（授業の減免、会議・役職の減免、業績・実績としての評価として認めるなど）を設定している場合は、その概要をご記入してください</p>	
		<p>(6)GAPファンドを用いて事業化を行ったベンチャーがあれば、GAPファンドによる支援内容について以下項目についてご記入下さい（最大3件） (A) 企業名 (B) 対象・目的（研究費、試作品作成費、市場調査費、知財取得費等） (C) 支援金額 (D) 資金以外の支援内容 ※行っている場合は記入</p>	
		<p>(7) 投資家と起業家/大学発ベンチャーの連携について (A)大学発ベンチャーと投資家（CVC、VC、エンジェル、アクセラレーター等）を繋げる取り組みなど、実施している投資家と大学の連携の取り組みがあれば概要をご記入下さい (B)大学が、投資家と連携するにあたって感じている課題がある場合、お聞かせください</p>	

大学に対する調査項目（先行調査⑥）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
3.大学の技術シーズに対するリスクマネーの投入について	大学の技術シーズ事業化・創業へ向けて活動する起業家・大学発ベンチャーに対して、産学連携部門の資金等における支援の基本方針についてお聞かせください	<p>(8) 知財の交渉について</p> <p>(A) 大学から大学発ベンチャーへの知的財産のライセンス、譲渡の際の交渉内容について、その意思決定者、プロセスや方針の概要をご記入ください</p> <p>※技術移転業務など産学連携業務の一部を外部の技術移転機関（TLO）等に委託している場合などはその利用状況も併せてご記入ください</p>	
4.スタートアップの支援を行う機関の大学内での位置づけ		<p>(1)組織内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部署名 ・ 大学内での位置づけ <p>※スタートアップ支援の部門は産連本部の一部、独立した室として運営、外部機関に委託など（組織図を必ず添付ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者人数：専属・兼務 	
		<p>(2)支援人材の確保や育成についてその方針や取り組み、課題をお聞かせください</p>	
		<p>(3)支援を行う担当者の過去の業務経験の有無についてお聞かせください（経験有の項目に○をご記入ください）また具体的な経験職種をご記入下さい</p>	<p>※次ページの図3参照</p>

図3

4(3) 支援を行う担当者の過去の業務経験の有無についてお聞かせください（経験有の項目に○をご記入ください）
また具体的な経験職種をご記入下さい

項目	経験の有無	具体的職種
A) 技術関連経験		
B) 経営関連経験		
C) 新規事業立ち上げ関連経験		
D) URA、コーディネーターなど産学連携支援経験		
E) 投資機関、金融機関関連経験		
F) 弁理士、弁護士、企業知財部門経験		
G) 大学事務職員		
H) その他		

大学に対する調査項目（先行調査⑧）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
4.スタートアップの支援を行う機関の大学内での位置づけ	(4)起業を検討している研究チームまたは大学発ベンチャー起業から産学連携室に起業に関する相談があった際の対応についてお聞かせください	(A) 起業の相談は年間何件程度ありますか？ (B) 右のそれぞれの相談についての対応状況についてご記入してください (C) 相談内容のうち、主なものについてその内容と対応について具体例をご記入してください	(B) ※次ページの図4参照
5.経営人材を集める仕組み		(1)大学発ベンチャーの経営者候補となる人材ネットワーク構築における取り組み事例があれば教えてください	
		(2)経営者候補を集める上での課題を感じている場合は、ご記入ください	
6.リスクマネジメント	ベンチャー創業に係るリスクマネジメント体制、規程について以下の質問にお答えください	(1)貴大学を本務とする教員・研究者の大学発ベンチャーとの兼業について	※次ページの図5参照

図4

4(4)(B) 以下のそれぞれの相談についての対応状況についてご記入してください

	対応可否	
	起業前	起業後
(例) 資金調達支援	○	×
(A) 資金獲得支援		
(B) 知財・法務関係		
(C) 経営人材等、人材の紹介		
(D) 提携先企業の紹介		
(E) その他の相談 (具体例：)		

図5

6(1) 貴大学を本務とする教員・研究者の大学発ベンチャーとの兼業について

就任先	可否	条件（選択式・複数選択可）
CEO就任		(ア)一定の時間内又は期間での活動とすること (イ)報酬の受け取りが発生しないこと (ウ)報酬の受け取りに上限を設けること (エ)大学との共同研究・知財等の契約の決裁権を持たないこと (オ)共同代表を立てること (カ)特になし (キ)その他（自由記述）
CTO就任		(ア)一定の時間内又は期間での活動とすること (イ)会社の経営に関わらないこと 報酬の受け取りに上限を設けること (ウ)大学との共同研究・知財等の契約の決裁権をもたないこと (エ)報酬の受け取りが発生しないこと (オ)特になし (カ)その他（自由記述）
技術顧問 就任		(ア)一定の時間内又は期間での活動とすること (イ)会社の経営に関わらないこと (ウ)大学との共同研究・知財等の契約の決裁権をもたないこと (エ)報酬の受け取りが発生しないこと (オ)報酬の受け取りに上限を設けること (カ)特になし (キ)その他（自由記述）
アドバイザー 就任		(ア)一定の時間内又は期間での活動とすること (イ)会社の経営に関わらないこと (ウ)報酬の受け取りが発生しないこと (エ)報酬の受け取りに上限を設けること (オ)特になし (カ)その他（自由記述）

大学に対する調査項目（先行調査⑩）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
6. リスクマネジメント	ベンチャー創業に係るリスクマネジメント体制、規程について以下の質問にお答えください	(2)大学発ベンチャー支援に際し、リスクマネジメント体制や各規程の運用について課題に感じる点があればご記入してください	<ul style="list-style-type: none"> ・規程を改正したい（又は必要性を感じる）が、雛形など参考資料がなく改正内容の検討が困難（ノウハウの不足） ・規程を改正したい（又は必要性を感じる）が、現行の教員や職員の勤務体系や学生の受講体系では改正が難しい ・規程を改正したい（又は必要性は感じる）が、前例踏襲の慣例等により組織として改正に踏み切る意思決定が難しい ・自大学のリスクマネジメントの運用基準が適切かどうかの判断が難しい ・リスクマネジメントの専門家がいいため運用が難しい ・運用経験が少なくノウハウが蓄積されていない ・リスクマネジメントに対する認識の周知が困難 ・特になし ・その他（自由記述）
7. 交流の場としてのハード面の環境整備	スタートアップ創出におけるエコシステム形成においては、インキュベーション施設等交流する場の整備が一つのポイントになると考えられます。このように貴学における交流する場の環境整備に関する考えをお聞かせください	(1)学内のインキュベーション施設、研究・開発施設との交流によって事業化が行われた成功事例をお聞かせください	
		(2)学内のインキュベーション施設、研究・開発施設の利用において、起業家・大学発ベンチャー向けに優遇措置を取っている場合はその内容についてお聞かせください。 ※卒業生や在学中の研究者が学内の施設を利用する際に優遇している等の事例を想定しています	
		(3)地域のインキュベーション施設、研究・開発施設との交流によって事業化が行われた成功事例をお聞かせください	

大学に対する調査質問票（全国調査）

【アンケートの概要】

ベンチャー創出の実績やベンチャー創出のポテンシャルを有すると考えられる191大学を対象に大学におけるベンチャー創出支援体制の実態を整理する為、エコシステムを構成する要素（「大学のビジョン」及び「資金」「ハンズオン」「人材確保」「マインド」「リスクマネジメント」「施設整備」）別に取り組み状況と課題を調査した。

大学に対する調査項目（全国調査①）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
0.回答者	回答者の基本情報について、右の項目をご記入ください	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名 ・役職 ・氏名 ・E-mail ・TEL 	
1.大学の起業支援に対する基本ビジョン	大学の研究成果を技術シーズとして事業化・創業を行う大学発ベンチャーを支援するための大学組織としての基本的な考え方についてお聞かせください	<p>(1)現時点で大学組織として大学発ベンチャー創出・支援が研究、教育、社会貢献、大学経営等の観点から重要だと考えていますか</p> <p>(A) 重要だと考えている／重要視していない</p> <p>(B) Aで「重要だと考えている」と回答した方についてその理由をご選択ください（複数選択可）</p> <p>(C) Aで「重要視していない」と回答した方についてその理由をご選択ください（複数回答可）</p> <p>(2)今後スタートアップ創出・支援をさらに進めていく必要があると考えていますか</p> <p>(A) はい／いいえ（選択制）</p> <p>(B) Aで「はい」と回答した理由を選択してください（複数選択可）</p> <p>(C) Aで「いいえ」と回答した方についてその理由をご選択ください（複数選択可）</p>	<p>(A)</p> <p>(1)重要だと考えている／重要視していない</p> <p>(2)はい／いいえ</p> <p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業化のプロセスにおける新たな基礎研究課題の創出 ・アントレプレナーシップの醸成等の教育効果 ・大学の研究成果の社会還元 ・大学発ベンチャーからの将来的な収入の見込みによる経営力強化 ・大学のブランド力向上 ・その他（自由記述） <p>(C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業を希望する研究者が少ない ・メリットに対するコストが大き ・大学発ベンチャー以外の方法での社会還元を力を入れている ・大学発ベンチャーの重要性について、学内で認識されていない ・その他（自由記述）

大学に対する調査項目（全国調査②）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
2.大学発ベンチャーの創出支援体制の全体像について		(1)必要と考えられる大学発ベンチャー創出支援内容を図1に示しました。図1のそれぞれの項目について、貴学での実施状況を回答してください。また大学発ベンチャーの創出に当たって重要だと考える項目について、上位5つの順位を記入してください	※次ページの図1.2参照
		(2)大学発ベンチャー創出支援体制として必要と考えられる事項を示した図1（P3）について、他に必要と考える支援要素があれば記入して下さい。また当該支援について既に実施している場合はその概要をご記入してください（自由記述）	
3.大学の技術シーズに対するリスクマネーの投入について ※3～7は該当がある場合のみご記入ください。取り組みがない場合は空欄で結構です	大学の技術シーズ事業化・創業へ向けて活動する起業家・大学発ベンチャーに対して、産学連携部門の資金等における支援の基本方針についてお聞かせください	(1)大学の技術シーズの事業化・創業のためのファンドやプログラムを運用していますか。また「いいえ」の場合、運用していない/できない要因・理由になっていることをお答えください (A) はい/いいえ（選択式） (B) いいえの場合の要因（複数選択可）	(A) はい/いいえ (B) ・資金確保が難しいため ・事業化する研究シーズが少ないため ・起業を希望する研究者がすくないため ・ファンドや支援プログラム運用のノウハウを有していないため ・ノウハウを有する又は運用する人材の獲得が難しいため ・その他（自由記述）
		(2)寄付金の獲得、民間企業、金融機関との連携、VC・エンジェルの誘致等、大学発ベンチャーへの投資資金(ファンド原資)獲得における状況について概要をご記入してください	・活動は行っており、投資資金の獲得もできている ・活動は行っているが、投資資金の獲得は出来ていない ・活動自体できていない。 ・その他（自由記述）
		(3)起業を検討している又は起業した研究チームに対して、優遇措置（授業の減免、会議・役職の減免、業績・実績としての評価として認めるなど）を設定している場合は、その概要をご記入してください	

大学に対する調査項目（全国調査③）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

図1

2(1) 必要と考えられる大学発ベンチャー創出支援内容を図に示しました

図のそれぞれの項目について、貴学での実施状況を回答してください

また大学発ベンチャーの創出に当たって重要だと考える項目について、上位5つの順位をご記入してください

	起業前	起業時	起業後	循環
資金	①PoCファンド※1 ②GAPファンド※2	③ファンドの運用※3（独自もしくはVCとの連携）		④大学発ベンチャーからの資金獲得
ハンズオン	⑤相談窓口の設置（適切な支援プログラム紹介、人材紹介、気軽な相談） ⑥アクセラレータープログラムの実施 ⑦メンター、専門知識提供		⑧事業拡大支援（人材紹介、提携先紹介、グローバル展開支援） ⑨資金調達サポート	⑩支援人材、ノウハウの持続的な維持
人材確保	⑪起業家教育プログラム	⑫経営者等の人材紹介の仕組み（卒業生ネットワーク、地域人材ネットワーク、紹介期間との提携など）		⑬大学発ベンチャーから講師、メンターとしての協力
マインド ・組織 ・研究者	⑭起業ポリシー・推進計画の有無 ⑮大学経営の観点から大学発ベンチャーを推進しているか ⑯5年前と比べ、研究者の起業意欲は高まっていると感じるか	⑰起業後の大学発ベンチャーに対して大学として支援を推奨しているか		
リスク マネジメント	⑱兼業、利益相反等の規定の整備、マネジメント経験	⑲知財・ライセンス交渉体制・経験 ⑳ストックオプション可否・経験	㉑ストック売却時のポリシーの有無 ㉒レピュテーションリスクに関する方針の有無	
施設 設備	㉓起業を目指す起業家や研究者、支援者のネットワークングスペースの有無	㉔研究者に近い場所でのインキュベーション施設の有無（ラボスペース、試作スペース、機器供与などのファシリティ）		㉕周辺地域施設の活用、提携の有無

大学に対する調査項目（全国調査④）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

図2

項目	実施状況 ○・×	重要と考えるもの 上位5つに順位を記入
■ 資金調達について		
①PoCファンドや事業化を目指す研究を支援するプログラムの有無		
②GAPファンドの有無		
③ファンドの運用（自大学独自もしくはVCとの連携）		
④大学発ベンチャーからの資金獲得の有無(大学発ベンチャーが事業で得た収益をもとに、大学に寄付、ロイヤリティー、株式売却等の資金を得た経験)		
■ ハンズオン支援について		
⑤相談窓口の設置有無（適切な支援プログラムや人材の紹介、気軽な相談）		
⑥アクセラレータープログラムの実施の有無		
⑦メンター制度、専門知識提供サポート		
⑧事業拡大支援（専門人材紹介、提携先紹介、グローバル展開支援等）		
⑨資金調達サポート（調達知識の提供、VC等投資家の紹介等）		
⑩支援人材の設置・育成、ハンズオン支援のノウハウの持続的な維持		
■ 人材確保における仕組みについて		
⑪起業家教育プログラムの有無		
⑫経営者等の紹介の仕組みの有無（卒業生や地域人材ネットワーク等）		
⑬大学発ベンチャーから講師、メンターとしての協力		
■ 起業へのマインド醸成（組織、研究者向け）について		
⑭起業ポリシー・推進計画の有無		
⑮大学経営の観点から大学発ベンチャー創出を推進しているか		
⑯5年前と比べ、研究者の起業意欲は高まっていると感じるか		
⑰起業後、大学発ベンチャーに対して大学として支援を推奨しているか (起業後、外部のアクセラレーションプログラムやVCの紹介等を推奨しているか)		
■ リスクマネジメントに対する対応		
⑱兼業、利益相反規程の整備および運用経験の蓄積		
⑲知財ライセンス交渉体制の構築および経験の蓄積		
⑳技術提供の対価としてのストックオプション可否		
㉑ストック売却時の方針の有無		
㉒レピテーションリスクに関する方針の有無		
■ ハード面の環境整備		
㉓起業を目指す起業家や研究者、支援者のネットワーキングスペースの有無		
㉔研究者に近い場所でのインキュベーション施設の有無（ラボスペース、試作スペース、機器供与などのファシリティ）		
㉕周辺地域施設の活用、連携の有無		

大学に対する調査項目（全国調査⑤）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
<p>3.大学の技術シーズに対するリスクマネーの投入について</p> <p>※3～7は該当がある場合のみご記入ください。取り組みがない場合は空欄で結構です</p>	<p>大学の技術シーズ事業化・創業へ向けて活動する起業家・大学発ベンチャーに対して、産学連携部門の資金等における支援の基本方針についてお聞かせください</p>	<p>(4)投資家と起業家/大学発ベンチャーの連携について</p> <p>(A) 大学発ベンチャーと投資家（CVC、VC、エンジェル、アクセラレーター等）を繋げる取り組みなど、実施している投資家と大学の連携の取り組みがあれば概要をご記入下さい</p> <p>(B)大学が、投資家と連携するにあたって感じている課題がある場合、お聞かせください（複数選択可）</p> <p>(5)知財の交渉について</p> <p>(A) 大学から大学発ベンチャーへの知的財産のライセンス、譲渡の際の交渉内容について、実際の交渉プロセスに近いものをご選択ください</p> <p>(B) 知財の交渉に際して感じている課題をお持ちであれば、ご選択ください（複数選択可）</p>	<p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的なネットワークの構築 ・投資家の求めるステージと大学の研究シーズにおけるステージのギャップ ・投資家側の目利き力 ・大学の研究シーズの可視化 ・特になし ・その他（自由記述） <p>(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部委託業者が大学発ベンチャーと交渉し、産連本部にて承認 ・研究室（研究チーム）が大学発ベンチャーと交渉し、産連本部にて承認 ・URA/知財担当者等が大学発ベンチャーと交渉し、産連本部にて承認 ・基本的に交渉はせず、産連本部にて決定した提案にベンチャー側が応じるかどうかで判断 ・基本的に交渉はせず、大学発ベンチャー側の提案に応じるかどうかを産連本部で判断 ・その他（自由記述） <p>(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財交渉に向けたノウハウ・経験の不足 ・知財交渉を実施できる人材の不足 ・知財ライセンスに向けたベンチャー側の時間的/コスト的負担 ・ライセンス交渉から承認までの意思決定、事務プロセスの煩雑さや時間がかかるなどの制度的課題 ・特になし

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
4.スタートアップの支援を行う機関の大学内での位置づけ		(1)組織内容 ・部署名 ・大学内での位置づけ ※組織図を添付してください ・担当者人数：専属・兼務	
		(2)支援人材の確保や育成における取り組みに近いものをご選択ください（複数選択可）※支援人材とは大学発ベンチャー支援を職務として実施している人材	・事業会社・金融機関の勤務経験者の採用 ・事業会社・金融機関からの出向受入れ ・行政機関からの出向 ・非常勤職員としての採用（長期雇用を行わない） ・研修・外部交流の促進
		(3)支援人材の確保や育成について感じている課題感に近いものをご選択ください（複数選択可）	・現行の大学の人事制度 ・技術開発職以外の職種経験者の確保 ・採用コストの確保やポストに見合った報酬設定の困難性 ・費用対効果の不確実性 ・支援人材候補の掘り起こし ・人材育成の体制・ノウハウ蓄積の仕組みの不足 ・特になし ・その他（自由記述）
		(4)支援を行う担当者の過去の業務経験の有無についてお聞かせください（経験有の項目に○をご選択ください）また具体的な経験職種をご記入下さい	※次ページの図3参照

図3

(4)支援を行う担当者の過去の業務経験の有無についてお聞かせください（経験有の項目に○をご選択ください）
また具体的な経験職種をご記入下さい

項目	経験の有無	具体的職種
A) 技術関連経験		
B) 経営関連経験		
C) 新規事業立ち上げ関連経験		
D) URA、コーディネーターなど産学連携支援経験		
E) 投資機関、金融機関関連経験		
F) 弁理士、弁護士、企業知財部門経験		
G) 大学事務職員		
H) その他		

大学に対する調査項目（全国調査⑧）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
4.スタートアップの支援を行う機関の大学内での位置づけ		<p>(5)起業を検討している研究チームまたは大学発ベンチャー起業から産学連携室に起業に関する相談があった際の対応についてお聞かせください</p> <p>(A) 起業の相談は年間何件程度ありますか (B) 以下のそれぞれの相談についての対応状況についてご記入してください (C) 相談内容のうち、主なものについてその内容と対応について具体例をご記入してください</p>	(B) ※次ページの図4参照
5.経営人材を集める仕組み		(1)大学発ベンチャーの経営者候補となる人材ネットワーク構築における取り組みに課題を感じていますか？	はい/いいえ
		(2)経営者候補を集める上での課題を感じている場合は、ご選択ください(複数選択可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者/起業家予備軍の発掘・プール化 ・ 地域での人材獲得 ・ 地域外からの人材獲得 ・ 発明者（又は技術）と経営者候補の相互理解の促進 ・ 大学としての人材ネットワークの構築 ・ 特になし ・ その他（自由記述）
6.リスクマネジメント	ベンチャー創業に係るリスクマネジメント体制、規程について以下の質問にお答えください	(1)貴大学を本務とする教員・研究者の大学発ベンチャーとの兼業について	※次ページの図5参照

図4

4(5)(B) 以下のそれぞれの相談についての対応状況についてご記入してください

	対応可否	
	起業前	起業後
(例) 資金調達支援	○	×
(A) 資金獲得支援		
(B) 知財・法務関係		
(C) 経営人材等、人材の紹介		
(D) 提携先企業の紹介		
(E) その他の相談 (具体例：)		

図5

6(1) 貴大学を本務とする教員・研究者の大学発ベンチャーとの兼業について

就任先	可否	条件（選択式・複数選択可）
CEO就任		(ア)一定の時間内又は期間での活動とすること (イ)報酬の受け取りが発生しないこと (ウ)報酬の受け取りに上限を設けること (エ)大学との共同研究・知財等の契約の決裁権を持たないこと (オ)共同代表を立てること (カ)特になし (キ)その他（自由記述）
CTO就任		(ア)一定の時間内又は期間での活動とすること (イ)会社の経営に関わらないこと 報酬の受け取りに上限を設けること (ウ)大学との共同研究・知財等の契約の決裁権をもたないこと (エ)報酬の受け取りが発生しないこと (オ)特になし (カ)その他（自由記述）
技術顧問 就任		(ア)一定の時間内又は期間での活動とすること (イ)会社の経営に関わらないこと (ウ)大学との共同研究・知財等の契約の決裁権をもたないこと (エ)報酬の受け取りが発生しないこと (オ)報酬の受け取りに上限を設けること (カ)特になし (キ)その他（自由記述）
アドバイザー 就任		(ア)一定の時間内又は期間での活動とすること (イ)会社の経営に関わらないこと (ウ)報酬の受け取りが発生しないこと (エ)報酬の受け取りに上限を設けること (オ)特になし (カ)その他（自由記述）

大学に対する調査項目（全国調査⑩）

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
6. リスクマネジメント	ベンチャー創業に係るリスクマネジメント体制、規程について以下の質問にお答えください	(2) 大学発ベンチャー支援に際し、リスクマネジメント体制や各規程の運用について課題に感じる点があればご記入してください（複数選択可）	<ul style="list-style-type: none"> ・規程を改正したい（又は必要性を感じる）が、雛形など参考資料がなく改正内容の検討が困難（ノウハウの不足） ・規程を改正したい（又は必要性を感じる）が、現行の教員や職員の勤務体系や学生の受講体系では改正が難しい ・規程を改正したい（又は必要性は感じる）が、前例踏襲の慣例等により組織として改正に踏み切る意思決定が難しい ・自大学のリスクマネジメントの運用基準が適切かどうかの判断が難しい ・リスクマネジメントの専門家がいいため運用が難しい ・運用経験が少なくノウハウが蓄積されていない ・リスクマネジメントに対する認識の周知が困難 ・特になし ・その他（自由記述）
7. 交流の場としてのハード面の環境整備	スタートアップ創出におけるエコシステム形成においては、インキュベーション施設等交流する場の整備が一つのポイントになると考えられます。このように貴学における交流する場の環境整備に関する考えをお聞かせください	(1) 学内のインキュベーション施設、研究・開発施設との交流によって事業化が行われていますか？	はい/いいえ
		(2) (1) で「はい」と回答いただいた方は、その事業名称をご記入ください（自由記述）	
		(3) 学内のインキュベーション施設、研究・開発施設の利用において、起業家・大学発ベンチャー向けに優遇措置を取っている場合はその内容についてお聞かせください（複数選択可）	<ul style="list-style-type: none"> ・入居料（又は利用料）の引下げ（又は無料化） ・法人登記を可能とする ・学内の研究機器等の利用が可能 ・特になし ・その他（自由記述）
		(4) 地域のインキュベーション施設、研究・開発施設との交流によって事業化が行われた成功の事例がありますか？	はい/いいえ
		(5) (4) で「はい」と回答いただいた方は、その事業名称をご記入ください（自由記述）	

項目	質問	選択肢（ある場合）
1.御社の基本情報について、右の項目をご記入ください	<ul style="list-style-type: none"> ・御社名 ・氏名 ・大学に関与した大学名 ・ベンチャーの種類 ・主に企業に携わった者の起業時の所属 	（ベンチャーの種類） <ul style="list-style-type: none"> ・研究成果ベンチャー ・共同研究ベンチャー ・技術移転ベンチャー ・学生ベンチャー ・関連ベンチャー （主に企業に携わった者の起業時の所属） ・学部生（研究室等に所属していない） ・学部生（研究室等に所属していた） ・大学院生（修士前期課程） ・大学院生（修士後期課程・博士課程） ・教職員 ・卒業生（学士）・卒業生（修士） ・卒業生（博士）・その他
2.大学の産学連携本部の活用状況に関してお伺いさせていただきます	Q1.産学連携本部（大学内で企業等との連携を推進させる部門）に起業について相談に行った時期はいつですか？※複数回答可	<ul style="list-style-type: none"> ・起業前 ・起業時 ・起業後 ・相談していない
	Q2. Q.1で“相談していない”を回答された方についてお伺いします。相談していない理由は何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携本部には効果的な支援を期待していないため ・そもそも相談できる窓口の存在を知らないため ・産学連携本部では起業の支援を行っていないため ・敷居が高く相談しづらいため ・その他
	Q3.産学連携本部にはどのような相談を行いましたか？※複数回答可	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデル/経営全体に関する相談 ・資金調達の相談 ・人材確保の相談 ・知財/ライセンス交渉の相談 ・学内規定等（兼業規定、利益相反等）に関する相談 ・施設の利用に関する相談 ・共同研究実施に関する相談 ・その他 ・相談なし

大学発ベンチャーに対する調査質問票

【アンケートの概要】

大学発ベンチャーの起業前・起業時・起業後における課題・大学との連携状況を整理する為、有限責任監査法人トーマツが有する大学発ベンチャー300社に対して、ヒト・モノ・カネ別に起業前・起業後の現状を調査した。アンケート回答は300社のうち、132社から回答が得られた

項目	質問	選択肢（ある場合）
2.大学の産学連携本部の活用状況に関してお伺いさせていただきます	Q4. 貴社が起業前から起業後に産学連携本部以外の方に相談された内容を教えてください※複数回答可	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデル/経営全体に関する相談 ・資金調達の相談 ・人材確保の相談 ・知財/ライセンス交渉の相談 ・社内規定整備等（雇用条件、利益相反等）に関する相談 ・施設の利用に関する相談 ・共同研究実施に関する相談 ・その他 ・相談なし
3.御社が起業される前や起業時における状況や課題に関してお伺いさせていただきます	Q5. リソース面（人材確保）では、どの人材の確保に困っていましたか？※複数回答可能	<ul style="list-style-type: none"> ・経営人材の確保 ・営業人材の確保 ・バックオフィス・総務系人材の確保 ・財務・CFO人材の確保 ・技術・CTO人材の確保 ・その他 ・困っていない
	Q6. リソース面（カネ）で、困っていたことは何ですか？※複数回答可能	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達手段（公募・銀行・VC等）の全体像が不明 ・全体像は把握しているが、進め方が不明 ・資金調達の相談窓口・連絡先が不明 ・調達のための交渉（ビジネスモデル・スキーム検討面） ・調達のための交渉（事業計画検討面） ・調達のための交渉（数値計画検討面） ・その他 ・困っていない
	Q7. リソース面（モノ）で困っていたことは何ですか？※複数回答可能	<ul style="list-style-type: none"> ・起業手続き・準備事項が不明 ・起業支援プログラムが不足 ・起業相談できる相手（起業家OB等）との接点が不足 ・事業活動・研究場所の確保（起業を検討できる場所） ・その他 ・困っていない

項目	質問	選択肢（ある場合）
3.御社が起業される前や起業時における状況や課題についてお伺いさせていただきます	Q8.産学連携本部に限らず、起業される前や起業時に大学に求める支援内容で最も重要と考えるものを1つお選びください	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業するための基本知識のインプット機会 ・ 人材(創業メンバー)紹介支援 ・ メンター人材(先輩起業家等)の紹介支援 ・ ハンズオン支援/アクセラレーションプログラム支援 ・ 資金提供支援 ・ 事業提携先、販路先の紹介支援 ・ 学業や勤務面における規程面での活動緩和支援 ・ ビジネスモデル策定に関する支援 ・ 知財取得支援 ・ 研究活動/事業活動場所の提供支援 ・ その他
	Q9.大学の制度面が要因となり、起業が思うように進まなかったことがあれば教えてください(最も該当するものを1つ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学業や本業の両立 ・ 研究設備/活動場所の使用制限等利益相反への対応 ・ 教職員の役員就任可否の対応 ・ 知財取得/ライセンス対応 ・ 大学ブランドへの対応(大学発ベンチャーと名乗る基準) ・ その他 ・ なし
4.御社が起業された後における状況や課題についてお伺いさせていただきます	Q10. どの人材の確保に困っていましたか? ※複数回答可能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営人材の確保 ・ 営業人材の確保 ・ バックオフィス・総務系人材の確保 ・ 財務・CFO人材の確保 ・ 技術・CTO人材の確保 ・ その他 ・ 困っていない
	Q11.リソース面(カネ)で、困っていたことは何ですか? ※複数回答可能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 銀行との交渉(借入等) ・ VCとの交渉(バリュエーションや放出シェア等) ・ 大学との交渉(知財交渉等) ・ その他 ・ 困っていない

項目	質問	選択肢（ある場合）
<p>5.御社が起業された後における状況や課題に関して伺いさせてください</p>	<p>Q12.起業後に資金以外、人材支援以外に特に不足する支援は何ですか？※複数回答可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に関する知識のインプット機会 ・ハンズオン支援・アクセラレーションプログラム支援 ・事業提携先、販路先の紹介支援 ・学業や勤務面における規程面での活動緩和支援 ・ビジネスモデル策定に関する支援 ・知財取得支援 ・研究活動・事業活動場所の提供支援 ・その他
	<p>Q13.起業後に産学連携本部に限らず大学に求める支援内容で最も重要と考えるものを1つお選びください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・起業するための基本知識のインプット機会 ・人材(創業メンバー)紹介支援 ・メンター人材(先輩起業家等)の紹介支援 ・ハンズオン支援・アクセラレーションプログラム支援 ・資金提供支援 ・事業提携先、販路先の紹介支援 ・学業や勤務面における規程面での活動緩和支援 ・ビジネスモデル策定に関する支援 ・知財取得支援 ・研究活動・事業活動場所の提供支援 ・その他
	<p>Q14.起業後に大学の制度面が要因となり、事業が思うように進まなかったことがあれば教えてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学業や本業の両立 ・研究設備・活動場所の使用制限等利益相反への対応 ・学生・教職員の役員就任不可の対応 ・知財取得・ライセンス化対応 ・大学ブランドへの対応(大学発ベンチャーと名乗る基準) ・その他 ・無し
	<p>Q15.御社が大学の産学連携に関して課題と感じていることがあれば、自由に記載してください</p>	

地方銀行に対する調査質問票

【アンケートの概要】

大学と地方銀行の連携上の課題を調査する為、大学発ベンチャーに投資・融資を行っている地方銀行・地方銀行系キャピタル20行にアンケートを実施した

地方銀行に対する調査①

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
1.企業概要	企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ・設立年 ・資本金 ・従業員数 ・株主構成 ・大学発ベンチャーへの融資/投資有無 	・有 / 無
	保有ファンド情報	(1)御校グループ傘下も含め地域企業への投資を行うファンドを保有していますか？	YES / NO
		(2) (1)で「YES」と回答した方は、保有する主なファンド情報を以下にご記入ください 【A 概要】	(セクター) ・バイオ/医療/ヘルスケア ・IT関連 ・工業/エネルギー ・製品/サービス ・特定しない (ステージ) ・シード ・アーリー ・ミドル ・レーター ・その他
		【B ファンド出資者業態別構成比率】	<ul style="list-style-type: none"> ・事業法人 ・他のVC/ファンドオブファンズ ・銀行/信用金庫/信用組合 ・保険会社 ・証券会社 ・年金基金 ・政府/地方公共団体（年金基金以外） ・大学/学術団体 ・個人 ・無限責任組合員および業務執行組合員 ・その他国内 ・外資
大学発ベンチャー向けファンド情報(保有企業のみ) 大学発ベンチャー向けのファンドを保有している場合、当該ファンド情報を以下にご記入ください	【A 概要】	(セクター) ・バイオ/医療/ヘルスケア ・IT関連 ・工業/エネルギー ・製品/サービス ・特定しない (ステージ) ・シード ・アーリー ・ミドル ・レーター ・その他	

地方銀行に対する調査②

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
1.企業概要	<p>大学発ベンチャー向けファンド情報(保有企業のみ)</p> <p>大学発ベンチャー向けのファンドを保有している場合、当該ファンド情報を以下にご記入ください</p>	<p>【B ファンド出資者業態別構成比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業法人 ・他のVC/ファンドオブファンズ ・銀行/信用金庫/信用組合 ・保険会社 ・証券会社 ・年金基金 ・政府/地方公共団体（年金基金以外） ・大学/学術団体 ・個人 ・無限責任組合員および業務執行組合員 ・その他国内 ・外資 	
2.大学との連携について	大学との連携状況について	(ア) 大学と連携した取り組みを実施していますか？	YES / NO
		(イ) (ア) で「YES」と回答した方にお伺いします。大学連携用の窓口又は担当者を設置していますか？部署を設置している場合は部署名も併せてご記入ください	・ YES / NO
		(ウ) (ア) で「YES」と回答した方にお伺いします。連携内容を教えてください。項目に当てはまらない場合は、その他の欄に自由記述でご記入ください	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と包括連携協定や産学連携協定を締結 ・人的交流 ・マッチング/引き合わせ支援 ・財務面でのコンサルティング支援 ・産学連携ファンド等の設立/出資支援 ・事業化支援 ・その他

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
2.大学との連携について	大学との連携状況について	(工) (ア) で「YES」と回答した方にお伺いします。取組み体制をご教示ください（取組体制の図などがあれば添付してください）	
		(オ) (ア) で「YES」と回答した方にお伺いします。体制構築において困難だった点をご教示ください	
		(カ) (ア) で「NO」と回答した方にお伺いします。その理由をご教示ください	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と連携する妙味や内容が分からない ・連携までの見通しやビジョンが立たない ・連携における予算がつかない ・大学の窓口が分からない ・大学の技術シーズが見えない ・事業発展性が無い ・その他
3.大学発ベンチャーへの投資/融資について	大学との連携状況について	(ア) 大学発ベンチャーへの投資又は融資を行っていますか？	YES / NO
		(イ) 「YES」と回答した方に伺います。投資又は融資はどういった背景で行っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生 ・大学発シーズの活用 ・一般的な融資/投資と同様 ・その他
	大学発ベンチャーに投資を行う又は検討する上で現状課題となっている点	大学発ベンチャーに投資又投資を検討する上での課題・ハードルについて当てはまる項目に「○」をご記入ください。併せて、具体的な内容を自由記述欄にご記入ください	<ul style="list-style-type: none"> ・投資先経営者として適切な人材がいない又は適切か分からない ・大学発ベンチャー又は研究室のつて/仲介役がいない ・大学の窓口が分からない ・大学の技術シーズが見えない ・ビジネス化を前提とした特許取得を行っていない ・プロトタイプを有していない ・マーケットのニーズが見込めない ・事業発展性が無い ・その他

地方銀行に対する調査④

大学
先行
調査

大学
全国
調査

大学発
ベンチャー
調査

地銀
調査

VC
調査

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
4.人的・経営支援の方針	各事業段階における支援の有効性（必要だと思われる言われる支援）	大学発ベンチャーに投資又は融資を行う上で、研究開発～事業化以降まで、各事業段階において、有効だと考える支援策について事業段階ごとに○をご記入ください（投資/融資を行っていない場合もご記入ください）	※次ページの図参照
	対応可能項目又は検討可能項目	御校が大学発ベンチャーに融資や投資するにあたって、提供可能なサービスまたは提供を検討することが可能なサービスに○をご記入ください（現在大学発ベンチャーに投資/融資を行っていない場合もご記入ください）	※次ページの図参照
5.その他		大学発ベンチャーへの投資を検討するにあたり、大学や文部科学省に求める事があればご記入ください	

4 各事業段階における支援の有効性（必要だと思われる言われる支援） 対応可能項目又は検討可能項目

	起業前 (研究開発～特許評価 ・出願)	起業時 (技術検証～商用化検証 /起業準備段階)	起業後
コンサル			
事業化支援			
営業・PR/マーケティングの支援			
知財戦略支援			
経営人材（CTO、CFO、社外役員）派遣			
人材の育成			
HR支援 (人材採用、経営人材プールの構築等)			
株式公開の支援			
合併、環境の斡旋			
情報、施設等の提供			
内部環境体制の構築			

VC・CVCに対する調査質問票

【アンケートの概要】

大学とベンチャーキャピタルの連携上の課題を調査する為、日本ベンチャーキャピタル協会の会員に対して、大学発ベンチャーに対する投資基準や投資を行う上での課題についてアンケートを実施した

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
1.企業概要	御社の基本情報について、以下の項目をご記入ください	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンド名 ・回答者氏名 ・Email ・投資対象セクター ・投資対象ステージ 	(セクター) ・バイオ/医療/ヘルスケア ・IT関連 ・工業/エネルギー ・製品/サービス ・特定しない (ステージ) ・シード ・アーリー ・ミドル ・レーター ・その他
2.大学発ベンチャーへの投資について	大学発ベンチャーへの投資経験及び大学発ベンチャー向けファンド保有可否について	<ul style="list-style-type: none"> ・大学発ベンチャーへの投資経験の有無 ・大学発ベンチャー向けファンド保有の有無 	有 / 無
	【大学発ベンチャーへの投資経験が無と回答した方に対するご質問】	A-1) その理由として右の項目のうち当てはまるものに「○」をご記入ください。併せて、具体的な内容を自由記述欄にご記入ください	<ul style="list-style-type: none"> ・期待するリターンが見込めない ・投資先経営者として適切な人材がいらない又は適切か分からない ・大学発ベンチャー又は研究室のつて/仲介役がいらない ・大学の窓口が分からない ・大学の技術シーズの理解が難しい ・大学の技術シーズの事業化可能性の判断が難しい ・プロトタイプを有していない ・マーケットのニーズが見込めない ・事業発展性が無い ・その他
		A-2) 今後、大学発ベンチャーへの投資をしたと考えていますか	はい / いいえ
		A-3) A-2でいいえと答えた方についてその理由は何ですか	<ul style="list-style-type: none"> ・期待するリターンが見込めない ・投資先経営者として適切な人材がいらない又は適切か分からない ・大学発ベンチャー又は研究室のつて ・ 仲介役がいらない ・大学の窓口が分からない ・大学の技術シーズの理解が難しい ・大学の技術シーズの事業化可能性の判断が難しい ・プロトタイプを有していない ・マーケットのニーズが見込めない ・事業発展性が無い ・その他

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
2.大学発ベンチャーへの投資について	【大学発ベンチャーへの投資経験が有と回答した方に対するご質問】	B-1) 期待するリターンが得られましたか	はい / いいえ
		B-2) 今後大学発ベンチャーへの投資額を増やそうと考えていますか。その理由と合わせてお答えください	<ul style="list-style-type: none"> 増やそうとしている 減らそうとしている 現状維持
	【大学発ベンチャー向けファンド保有している企業に対するご質問】 大学発ベンチャー向けのファンドを保有している場合、当該ファンド情報を以下にご記入ください（複数保有している場合は、主要なものを一つお選びください）	<ul style="list-style-type: none"> 投資対象セクター 投資対象ステージ 	(セクター) ・バイオ/医療/ヘルスケア ・IT関連 ・工業/エネルギー ・製品/サービス ・特定しない (ステージ) ・シード ・アーリー ・ミドル ・レター ・その他
大学発ベンチャー投資において重視する条件(大学発ベンチャー向けファンド保有企業のみ) 大学発ベンチャーに投資する上で重視する条件に対し、重要だと思順に1～3の数字をご記入ください。項目に当てはまらない場合はその他の欄に具体的な内容をご記入下さい	投資において重視する条件	<ul style="list-style-type: none"> 論文発表がなされていること 技術・研究成果の革新性 ビジネス化を前提とした特許取得を行っていること プロトタイプを有していること 研究実績又は実用化実績率を一定程度有していること マーケットニーズ・サイズが一定程度見込める事 事業計画や戦略が十分に検討されていること・ 事業発展性があること 経営者の資質が高いこと 経営者以外の人員体制が整っていること その他 	
	経営人材面（求めるCEO像）	<ul style="list-style-type: none"> 企業経営経験者 アントレ教育/ビジネススクールでの学習経験 経営コンサルタント経験 理系博士課程レベルの技術理解 大学教員レベルの技術理解 ビジネスコンテスト等の受賞経験 同業種企業経験 起業経験 その他 	

大項目	小項目	質問	選択肢（ある場合）
3.人的・経営支援の方針について	(1)各事業段階における支援の有効性（必要だと思われる言われる支援）	研究開発～事業化以降まで、各事業段階において、有効だと考える支援策について事業段階ごとに、有効だと思う順に1～3の数字をご記入ください	※次ページの図参照
	(2)対応可能項目又は検討可能項目	御社が大学発ベンチャーに投資するにあたって、提供可能なサービスまたは提供を検討することが可能なサービスに○をご記入ください	※次ページの図参照
4.その他		大学発ベンチャーへの投資を検討するにあたり、大学や文部科学省に求める事があればご記入ください	

3(1) 各事業段階における支援の有効性（必要だと思われる言われる支援）

3(2) 対応可能項目又は検討可能項目

	起業前 (研究開発～特許評価 ・出願)	起業時 (技術検証～商用化検証 /起業準備段階)	起業後
事業計画、戦略立案に関する コンサルティング			
営業・PR/マーケティングの支援			
知財戦略支援			
法務、規制対応、行政手続き支援			
経営人材（CTO、CFO、社外役員）の派遣			
人材の育成			
HR支援 (人材の採用、経営人材プールの構築等)			
顧客、提携先の斡旋			
株式公開の支援			
合併、環境の斡旋			
情報、施設等の提供			
内部環境体制の構築			